

JOA NEWS



2025.7



写真:世界マスターズMTBO選手権大会公式Webサイトより(<https://www.wmmtboc2025.com/>)

Japan in World Orienteering

アジアジュニア・ユース選手権、東京2025デフリンピック

5-6 p

NEW

会長就任挨拶

2 p

Report

世界マスターズMTBO選手権大会

3 p

Report

2024年度日本学生選手権 [ミドル・リレー競技部門]

4 p

Special

オリエンテーリングと出会い、練習会や大会に参加して

7 p

Pick Up

スキーO ニュースレター

8 p



このたび、日本オリエンテーリング協会の会長を拝命いたしました野田聖子です。

私はこれまで、政治の場において、特に子どもや若者、そして女性が安心して活躍できる社会の実現に取り組んでまいりました。今回、自然の中で自ら考え、判断し、行動するスポーツであるオリエンテーリングの発展に携わる機会をいただいたことを、大変光栄に感じております。

オリエンテーリングは、単なる競技を超え、自己との対話、他者との連帯、そして自然への敬意を育む素晴らしいスポーツです。競技者はもちろん、指導者、運営者、地域の皆様など、多様な立場の方々が関わり合いながらこの競技が成り立っていることに、深い感銘を受けています。

私の役割は、この競技の魅力と意義をより多くの方々に知っていただき、未来を担うジュニア世代の育成、地域社会との連携、そして国際的な交流のさらなる推進に力を尽くすことだと考えています。

全国のオリエンテーリング愛好者の皆様とともに、新しい風を起こし、このスポーツが持つ可能性をさらに広げてまいります。今後とも、日本オリエンテーリング協会の活動にご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

第13期JOA定期総会・日本代表壮行会

2025年6月7日に東京都JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREにて、第13期定期総会と第48回理事会を開催しました。総会では2024年度事業報告と理事の承認についてなどが話し合われ、その後質疑応答や意見交換が行われました。

総会後の2024年度JOA表彰式では、長年の功労を称えて3名が表彰されました。愛知県オリエンテーリング協会から推薦の、小野盛光氏を県協会への多大な尽力により、岡野英雄氏を中学・高校生への指導の功績により表彰しました。また宮城県オリエンテーリング協会から推薦の三上千香子氏を県内での指導・普及の功績により表彰しました。

夕方からは日本代表選手壮行会も開催されました。オフィシャルパートナー様や選手のご親族の方々をお招きし、フットO (WOC、JWOC、東京2025デフリンピック)、MTBO、トレイルO、スキーOの各選手団へ認定証の授与や選手紹介が行われました。

またオフィシャルパートナー様の代表として株式会社リテラメッド代表取締役山岸様より激励のメッセージを頂戴しました。

最後に、選手を代表してフットOより辻悠佳選手、トレイルOより岩佐佳祐選手が決意表明をしました。



事業計画・
報告書・議事録

写真：信原靖 様



フットオリエンテーリング ジュニア代表



山西名誉会長より挨拶

世界マスターズMTBオリエンテーリング選手権大会(WMMTBOC)報告

MTBO委員会

2025年5月1日～4日にかけて、スペイン ムルシアで開催された、世界マスターズMTBオリエンテーリング選手権大会(WMMTBOC)へ出場してきました。今回出場したのはM55クラスに樋口志選手、W55クラスに加納尚子選手の2名。

大会は4月30日のモデルイベントからはじまり、1日ミドル、2日マスタート、3日ロング、4日スプリントと、4日間連続でレースが開催されました。

ムルシアはスペイン南東部の海岸線から少し内陸に入った位置にあり、オレンジとレモンの栽培が盛んです。農耕地以外にほとんど樹木はなく、乾いた岩山に草叢が点在している程度で、日本と比べると、ほぼ砂漠のような丘陵地帯でした。道路から見える山の景色には、どの丘にも谷にも、MTBで走りこんでいるようなオフロードが縦横に見えます。さすが自転車の国。

マスターズ世界選手権大会は、5歳刻みでクラスが分かれているため、前回同じクラスで競った相手も、毎年少しずつ入れ替わりがあって違うクラスになっていきます。トレーニングを重ねてきているとはいえ、大会が始まってみないと、自分のクラスのライバルたちの実力がどれほどのものかが判りません。前回からは2年ぶりの出場で、正直どうなるか、期待と不安が交錯した状態で、大会は始まりました。



加納選手、表彰式にて

初日のミドルは、山間の盆地に広がるレモン畑の中を縦横無尽に走り回る、他では体験できないような特殊なトレイン、難しくてタフなレースでした。加納選手はレモン畑の横のフェンスにハンドルをひっかけてこけたり、路面の割れた土管の穴に落ちたり、枯れた水路の中を走って、段差はMTBを放り上げてからよじ登ったり、ひたすら必死に走りました。加納選手がフィニッシュしたところ、同じクラスの選手はまだ誰も帰ってきていないとのこと、結果は優勝でした。樋口選手は1ヶ台のレースを展開していたのですが、メカトラ(チェーン切れ)を起こしてDNF。

2日目はマスタート。午後15時すぎからのレースは、照り付ける日差しに、乾燥して砂埃の舞う、気温30度越えの荒地の中をかけるサバイバルレースでした。加納選手は後半のテクニカルな廃墟エリアで同じクラスの選手と並走になり、最後の最後で競り負けてしまい結果は2位でした。樋口選手は11位。多くの選手がミスパンチ等で失格になる中、過酷な環境下で健闘しました。

3日目はロング。ムルシア北東部にある自然保護区の公園内で行われました。尾根筋、谷底に伸びるトレイルを使い、ナビゲーション能力以上にバイクコントロールスキルも問われるロングらしいコースでした。加納選手はルートチョイスのミスや、分岐に惑わされたりなどもありましたが、後半はペースを上げてフィニッシュ。ドキドキしながら速報を確認したら、1位でした。樋口選手は26位。M55クラスは参加選手が最も多い激戦クラスということもあり、厳しい戦いだった様子。

4日目のスプリントは、ムルシア大学構内で行われました。フットOなら普通のキャンパス内スプリントですが、MTBだとバイクのスピードに自分の認識が追いつかず、方向変化についていくことや、リロケートについてもフットOより難しく感じます。また秒単位のミスも大きく響きます。加納選手は地図表記に惑わされたミスなどもあり、結果は2位でした。樋口選手は得意種目ということもあり8位。より上を目指せる感覚をつかんでの大会終了でした。

今回の大会では、日本選手はW55クラスで金メダル2個、銀メダル2個、合計4個のメダルを獲得することができました。2023年の結果が、偶然や幸運ではないことを証明できました。

MTBOはオリエンテーリング競技の持つ幅広い魅力を体験できる種目です。8月にはポーランドで世界選手権大会が開催されます。これから毎週、国内でMTBO練習会をしていますので、機会があればぜひご参加ください。

写真：MTBO委員会



世界マスターズ
MTBオリエンテーリング
選手権大会
公式Webサイト



MTBO JAPAN
facebook

日々のトレーニング情報や
遠征レポートはこちらから



世界MTBオリエンテーリング選手権大会 公式サイト

8月11-17日

ポーランド、ワルシャワにて開催
応援よろしくお願いします!



2024年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

(ミドル・ディスタンス競技部門/リレー競技部門)

2025年3月8・9日に栃木県日光市所野にてインカレミドル・リレーが開催されました。本年度は日本学生オリエンテーリング連盟が発足して40周年にあたり、開会式に続けて歴史を振り返る記念セレモニーを行いました。

12年前と同じテレイン、同じ会場で行われる「ツナゲルインカレ」、ミドルの選手権は正確な速さが求められるものとなりました。MEクラスではスプリントチャンプの及川選手(筑波3)が好タイムを出し2位入賞。そして美濃部選手(横浜市4)が次々と中間ラップを更新して会場に現れ、連覇を達成しました。WEクラスでは川瀬選手がトップタイムを約2分更新し2位入賞。そして山崎選手(筑波3)が圧倒的なタイムでトロフィーを獲得しました。

翌日の男子選手権リレーでは、1走は筑波、京都、立命館の順でチェンジオーバーしました。しかし2走では東京の三井選手が後続を突き放しトップに。7分後に筑波と名古屋、そして京都が追います。3走では筑波、京都、横浜市が追い上げ、特に筑波の及川選手は東京の久保木選手にポスト付近ですれ違うほどの距離まで迫りますが、30秒届かず、東京大学が連覇しました。女子選手権リレーの1走では、東北院の鷲津選手がトップで帰還しました。次いで2走では京都の羽岡選手が順位を1つ上げ首位に、筑波も続きます。そして、3走では筑波大学の樋口選手が最初に会場に姿を現し、3連覇を達成しました。

2024年度日本学連幹事長 遠藤陽太

🏆 主な成績

ミドル・ディスタンス競技部門

ME 4.0km(↑280m)

- 1 美濃部 駿 0:31:06 横浜市立大学4
- 2 及川 悠太郎 0:32:59 筑波大学3
- 3 石原 潮人 0:33:35 京都大学4
- 4 弓田 和生 0:34:08 法政大学4
- 5 寺嶋 謙一郎 0:34:25 東京農業大学(オホーツク)3
- 6 三井 健世 0:34:32 東京大学4



WE 3.3km(↑265m)

- 1 山崎 葵 0:33:25 筑波大学3
- 2 川瀬 智尋 0:38:42 奈良女子大学3
- 3 落合 英那 0:40:23 京都大学3
- 4 中舘 美卯 0:41:03 横浜国立大学2
- 5 樋口 佳那 0:43:35 筑波大学4
- 6 砂田 優萌子 0:43:50 お茶の水女子大学3



2024年度インカレ
ミドル・リレー

リレー競技部門

MER

- | | | |
|----------|--------------------------|---------|
| 1 東京大学 | (佐藤 諒平 - 三井 健世 - 久保木 航) | 2:26:12 |
| 2 筑波大学 | (齊藤 大己 - 森清 星也 - 及川 悠太郎) | 2:26:45 |
| 3 京都大学 | (竹林 寛生 - 角田 和貴 - 石原 潮人) | 2:28:51 |
| 4 横浜市立大学 | (女井 岳哉 - 高橋 悠 - 美濃部 駿) | 2:30:27 |
| 5 横浜国立大学 | (高野 真人 - 野口 遊瑚 - 森 創之介) | 2:31:57 |
| 6 名古屋大学 | (館 直輝 - 市川 礼人 - 鈴木 寛人) | 2:37:21 |

WER

- | | | |
|-----------|--------------------------|---------|
| 1 筑波大学 | (坂池 なつほ - 山崎 葵 - 樋口 佳那) | 2:14:04 |
| 2 京都大学 | (角本 柚香 - 羽岡 美紀 - 落合 英那) | 2:16:59 |
| 3 東北大学大学院 | (鷲津 加子 - 岩城 美奈 - 林 明穂) | 2:30:57 |
| 4 横浜国立大学 | (中舘 美卯 - 平澤 葵 - 桑原 唯歩) | 2:37:07 |
| 5 日本女子大学 | (濱田 美咲妃 - 鈴木 万結 - 西川 真由) | 2:50:31 |
| 6 東京理科大学 | (西村 美穂 - 山本 佳奈 - 宮川 葵衣) | 2:52:28 |



写真：坂巻朱里 様、北川賢也 様

アジアジュニア・ユース選手権(AsJYOC)開催に向けて



今年8月、愛知県設楽町でアジア各国の若き精鋭が集う「第6回アジアジュニア・ユースオリエンテーリング選手権(AsJYOC 2025)」が開催されます。

2023年より、数々のハードルを乗り越えながら、有志の実行委員会メンバーで準備を行ってきました。日本のオリエンティアの皆さまには、アジアのジュニア世代による熱戦をぜひご観戦いただくとともに、併設大会である「設楽町合併20周年記念オリエンテーリング大会 兼 第19回名相大会」へのご参加を心よりお待ちしております。

日付	AsJYOC2025	併設大会
8/27(水)	スプリント	
8/29(金)	スプリントリレー	スプリントリレー
8/30(土)	ミドル・ディスタンス	ミドル・ディスタンス
8/31(日)		ロング・ディスタンス(WRE)



自然あふれる山あいの町・設楽町が、国際大会の熱気と、オリエンテーリングを愛する人々の集う特別な舞台となります。競技者として、応援者として、仲間と一緒に――

今年の夏は設楽町で、オリエンテーリングとともに過ごしませんか？

AsJYOC2025実行委員会 一同



movie
実行委員長
伊藤樹からのお誘い



AsJYOC2025
公式Webサイト



AsJYOC日本チームのための
寄附金募集
(所得税・法人税控除対象)

代表選手紹介

OW20

高木 優彩(京都女子大学/京女OLC)
佐々木 結佳(早稲田大学/ES関東C)
田谷 夏姫(筑波大学/京葉 OLCラブ)
山本 美沙(筑波大学/渋谷で走る会)
野村 優衣(奈良女子大学/OLP兵庫)
久島 典子(京都大学/京大OLC)

OM20

齊藤 大己(筑波大学)
石原 尋季(京都工芸繊維大学/京大OLC)
大石 涼太(日本大学/東大OLK/静岡OLC)
尾藤 碩(京都大学/練馬OLC)
中村 涼太(東京理科大学/早大OC/ES関東C)
篠原 本(早稲田大学/早大OC)

OM18

小坂 咲慧(桐朋高等学校/桐朋IK)
畑田 裕志(桐朋高等学校/桐朋IK/練馬OLC)
宮脇 滉直(桐朋高等学校/桐朋IK/練馬OLC)
水野 舞人(千葉県立千葉高等学校/ES関東C)
内田 善大郎(桐朋高等学校/桐朋IK)
澄川 祐樹(麻布高等学校/横浜OLC)

OW18

藤原 菜夏子(中央大学附属高等学校 WILDLIFE)
鈴木 聡実(東北大学/東北大OLC)
渡邊 心葉(中央大学附属高等学校 WILDLIFE)
椎名 皆咲(中央大学附属高等学校 WILDLIFE)

OW16

石井 百花(宝塚市立美座小学校/OLP兵庫)
勝田 夏妃(信州大学附属松本中学校/松本オリエンテーリングクラブ)

OW14

源後 彩乃(板橋区立高島第三小学校/みちの会)
勝田 有美(松本市立開智小学校/松本オリエンテーリングクラブ)
植松 里咲子(八王子市立石川中学校/入間市OLC)

OM16

伊藤 道隆(麻布中学校/ES関東C)
野本 凜太郎(東海高等学校/OLCルーパー)
西川 稜真(東海中学校/OLCルーパー)
林 剛広(麻布高等学校)
橋本 敏(神戸高等学校/OLP兵庫)
東 遼次(麻布中学校/ES関東C)

OM14

星野 道太朗(桐朋中学校)
清水 湊杜(尾道市立美木中学校)
西野 航平(桐朋中学校)
内山 尊(麻布中学校)
植松 健人(桐朋中学校)
白石 太郎(入間市OLC)

東京2025デフリンピック開催に向けて



日本デフオリエンテーリング協会 辻悠佳選手



私たちは、来る東京2025デフリンピックに向けて、強い覚悟を決めて、練習や大会に参加しています。これまで、壁にぶつかっても、仲間たちと支え合いながら、共に乗り越えてきました。

そして、競技を通して、「できない」ではなく「どうすればできるのか」を考え続けてきました。

初めてデフリンピックに出場する選手が多いですが、選手全員「有志竟成」の意を持って取り組んでいます。「有志竟成」とは、強い意志を持って取り組めば、成功するという意味の言葉です。

デフリンピックは、選手たちにとって夢の舞台であると同時に、誰もが輝ける共生社会の象徴です。また、選手一人ひとりが輝く舞台だけでなく、きこえない人、きこえる人が共に創る舞台だと思っています。大会本番では、自分の力を出し切り、多くの人に勇気と希望を届けたいと思っています。

東京2025デフリンピックで終わらず、次の新しい舞台へ繋げられるよう、大きく成長していきます。

皆さま、応援よろしくお願いいたします！

代表選手紹介

宮本一郎、井上晃、大久保秀美、丘村彰敏、児玉健、上園久美子、ヨルクフェテル



小嶋太郎、中森恵美子、三宅裕子、辻悠佳、木村修



堤大揮



尾田継之

細字：チームスタッフ
太字：代表選手

競技会場で応援するときには・・・

デフリンピックのルール上、補聴器を外さないといけないため、声援は選手に届きません。アイドルの推しうちわのように選手名を書いて振ったり、サインエールを送ると伝わりやすいそうです。



「サインエール」を覚えよう！

「GO! (行け!)」は短いので、競技中でも伝わりやすいサインエールです。



東京2025デフリンピック委員会 委員長 木村佳司

東京2025デフリンピックを通じて日本のオリエンテーリングをどうしたいのか？ 以下は私の個人の思いです。

・オリエンテーリングでよりよい社会を創る

聴覚障害の有無にかかわらず、幸福な社会を創ってゆく。同一条件でカテゴライズされた「目標となるべき競技会」を創る。

・オリエンテーリングの普及を図る

今回、デフリンピックという国際マルチスポーツ大会でオリエンテーリングが必要とされています。その結果一般者、関係者でオリエンテーリングへの認知が進むと思っています。

開会式の日(11月15日)に行われる競技はサッカーとオリエンテーリングだけです。おそらくデフリンピックの金メダル第一号がオリエンテーリングから誕生します。こうした一般の方にも届くニュースの中でオリエンテーリングが語られると想像しています。今回のデフリンピックはオリエンテーリング普及に向けた千載一遇のチャンスととらえています。



最新情報を
発信しています！

日本デフオリエンテーリング協会
Instagram

競技実施日 11月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



東京デフリンピック2025
公式Webサイト

秋篠宮皇嗣妃殿下には、コロナ禍後の2024年春に再開されて以来、オリエンテーリングの大会や練習会に何度もご参加いただきました。今回、紀子様には、オリエンテーリングとの出会いや楽しさなどについて語っていただくとともに、大会運営に携わる人、日本代表選手から様々な年齢層のオリエンテーリング愛好者などにお言葉をいただきました。

オリエンテーリングと出会い、練習会や大会に参加して

秋篠宮紀子

私がオリエンテーリングを始めるきっかけとなったのは、「認知地図」という言葉でした。2019年に東京で開催された第29回国際地図学会議開会式のレセプションで、大学の卒論で「認知地図」を扱ったことを海外の研究者に話したところ、数日後の会議のサイドイベントに誘われ、公園のオリエンテーリングに初めて参加しました。このときの心弾む経験が、森の中での大会への参加につながりました。その後、コロナ禍のために、しばらく離れていましたが、日本で初めて開催されるろう者のためのオリンピック、デフリンピックの正式種目にオリエンテーリングがあることを知り、昨年の春からデフ選手の応援も兼ねて、再び大会の開催場所を訪れるようになりました。

オリエンテーリングは、地図とコンパスを使い、経験や記憶力などを活かして、自分の道を決めて進んでいく面白さと難しさがあると感じています。森の中で、迷いながら最適なルートを探してチェックポイントをまわっているときに、斜面や茂みを颯爽と駆け抜けていく選手たちを見かけることがあります。大会に向けての準備、当日の集中力や判断力などがその凛々しい姿を支えていると聞き、心動かされます。一方で、地図を読むことにまだ慣れているとは言えない私は、コンパスと地図の持ち方が逆さになり間違った方向に行くこともありますが、森の中で目印を探し、自分の認知地図を作りながら、体力に合ったスピードでゴールを目指しています。

各地での大会や練習会の運営には、長年競技を経験してきた方だけでなく、競技者でもある学生や社会人のボランティアなど多くの方々が関わり、様々な参加者が安全に競技できるようテレインでのコースプランや地図作りなどをおこなっています。こうした関係者のご尽力のおかげで、私たちがオリエンテーリングを楽しめることを大変ありがたく思っています。

スタート地点では、参加者がそれぞれ時計を見ながら準備体操などをして出発の順番を待ちます。緊張感の中で、スタッフがスムーズに開始できるよう、さりげなくサポートをしてくださるので、参加者にとって集中力を保つこともでき、頼りに感じられます。フィニッシュ後には、スタッフが「どうでしたか」と声をかけてくださったり、帰り道に初めてお会いした競技者をご自分の経験や趣味についてお話をしてくださったり、また、クラスが異なる選手たちと一緒に、ルートの選択や地図読みなどの「ふり返し」の場もあり、参加する度に心に残る時間をすごしています。

オリエンテーリングには、子どもから90歳を超える高齢者まで幅広い年齢層の人が参加する大会もあります。子どもたちがオリエンテーリングを通して、地図の読み方や自然について幅広く学び、野外で活動する面白さを知るきっかけにもなることでしょう。またオリエンテーリングには、フットO、スキーO、マウンテンバイクOのほかにはトレイルOがあり、早さを競うものがある一方で、読図と地形の解釈の精度・時間を競うものもあります。フットOとスキーOの両方の競技をしている人もいれば、ナビゲーションや読図のスキルを活かし登山などの安全にも貢献する指導者や、歳を重ねても各地の大会に足繁く参加する人もいますなど、オリエンテーリングに関わる人の志向が多岐にわたっていることも、このスポーツの特徴の一つでしょう。

このような多様な魅力のあるオリエンテーリングの運営をする方々、普及活動をしている方々に感謝の気持ちを抱きながら、オリエンテーリングの仲間の輪が広がっていきますよう願っています。

今年7月にはフィンランドで世界選手権とイタリアでジュニア世界選手権があり、8月には中国でワールドゲームズがあります。また国内でも、8月に愛知県でアジアジュニアユース選手権大会、11月に東京都で日本初のデフリンピック、来年3月には北海道でスキーオリエンテーリングの世界選手権大会が順次開催される予定と伺いました。大きな目標に向けて日々努力をされ、練習に励まれる代表選手の皆さまと選手を支えるスタッフや関係者の皆さまに、心からのエールをお送りします。



スキーオリエンテーリング委員会では、2024年7月よりニュースレターを発刊しています。

2025年6月19日に発行のVol.4では、2025年2月～3月に開催されたジュニア世界選手権大会、ワールドカップと、2025年度強化選手発表・グリーンシーズンイベント案内など掲載しています。

スキーO委員会 発行
2025年6月19日

スキーオリエンテーリング

NEWS LETTER

vol.04

岩淵・阿部選手 ジュニア世界スキーオリエンテーリング選手権大会で大健闘！！

2025年3月19日～23日フィンランド・POSIOにて開催されたジュニア世界スキーオリエンテーリング大会には、岩淵七海選手（ライオン/盛岡第四高校）阿部藍選手（ライオン/安代中学校）の中高生コンビが参加しました。

ジュニア世界スキーO選手権大会 2025
開催日：2025年3月20-23日
開催地：フィンランド・ポシオ

●W20（スプリント）

1. Mattias Larsson 14:43
27. 岩淵七海 33:10
28. 阿部藍 33:31

●W20（ミドル）

1. Johanna Naskali 29:46 Finland
24. 阿部藍 49:09
26. 岩淵七海 54:35

●W20（ロング）

1. Pyry Riissanen 1:02:46 Finland
26. 岩淵七海 1:41:24
27. 阿部藍 1:56:35




阿部藍選手 岩淵七海選手

2025年度(2025-2026)スキーオリエンテーリング強化選手の指定

2025年4月16日に公開した「スキーオリエンテーリング2025年度強化選手の指定について」に基づき、世界ランキングあるいは日本ランキングにおいて所定の資格を満たした選手を、強化選手として指定されました。指定期間は2026年3月まで。

【A強化選手】

・男子
石原 湧樹（アークコミュニケーションズスキーチーム）

【B強化選手】

・女子
荒町 美希（北海道オリエンテーリング協会）
佐野 響（デジタル庁/桐蔭会）
高野 澄佳（大阪 OLC）

・男子
石原 拓巳（横浜スキークラブ）
小浦 空（北大 OLC）
佐賀 太一（北海道オリエンテーリング協会）
清水 嘉人（札幌 OLC）
寺崎 謙一郎（東京農業大学/ES 関東 C）※U23
道坂 怜生（大阪 OLC）

【U20強化選手】

岩淵 七海（岩手県オリエンテーリング協会）
阿部 藍（Life8）



Men

41. 石原湧樹 42:37
52. 道坂怜生 50:20
53. 清水嘉人 51:48
54. 寺崎謙一郎 54:26
57. 佐賀太一 1:09:25

ロング(2025/03/23)

31. 高野澄佳 2:00:42
32. 佐野 響 2:18:25

Women

41. 石原湧樹 1:42:59
43. 寺崎謙一郎 1:44:16
45. 道坂怜生 1:49:39
51. 清水嘉人 2:13:30
52. 佐賀太一 2:13:36



地図では毎分5秒に1回、オーロラを見る事ができました。



ロングは、Men 25.1Km ↑ 240m 24 コントロール、Women 21.3Km ↑ 160m 16 コントロール、ミドルからさらにナロートラックの割合が増え、微地形に広がるナロートラックでの細かいナビゲーションが求められました。



続きはこちらから

NEWS LETTER
VOL. 4



SKIO JAPAN Team
Xにて最新情報を発信しています

2026年3月には北海道留寿都村でスキーオリエンテーリング世界選手権大会が開催されます。

スキーオリエンテーリング委員会は、大会に向けて日本代表選手の強化を図るとともに、併設大会に向けた普及活動も行っており、ぜひ今後の活動にもご注目ください！



世界スキーオリエンテーリング
選手権大会2026
公式Webサイト



アジアオリエンテーリング協会だより

JOA副会長、アジアオリエンテーリング協会会長 村越真

2024年12月、タイでのアジア選手権の際に、アジアオリエンテーリング協会(以下AOA)の第1回の総会が開催されたことについては、理事会・事務局便りNo.50ですすでにお知らせしました。その後も2ヶ月に1回のペースで、理事メンバーの会合を開催し、また総会も5月に開催しました。

加盟国・地域は現在8ですが、マカオが中国より承認を受ければ、承認された地域としてIOFの準加盟となり、アジア協会の正式会員となるべく、準備を進めています。

AOAは、シンガポールに登録された法人格を持つ団体ですが、予算もマンパワーもまだまだ貧弱です。それでも、東南アジアでのオリエンテーリングはかつてない盛り上がりを見せ、定期的にワールドランキングイベントが開催されるに至っています。また、中国や韓国なども、本腰を入れて国際関係の構築を図っています。皆さんも、是非これを機会に、アジアにも目を向けて、開催される大会に、観光を兼ねても結構ですので、出かけてみてください。競技のスタンダードは決して高くはありません。しかし、年配の方であれば「昭和40～50年代は日本もこうだった」などと、ノスタルジアに浸ることもできるかもしれません。現地の熱心なオリエンティアと知り合いになれるかもしれません。あなたのオリエンテーリングシーンの1ページに、ぜひアジアのオリエンテーリングを!

8月末には愛知県設楽町でアジアジュニア・ユース選手権が開催されます。大会に参加されましたら、日本選手だけでなく、海外から来日したジュニア選手にもエールを送っていただけると、彼らの励みにもなります。(関連記事:5ページ)



Asian Orienteering Association
Facebook



理事会・事務局だより第50号

2025年度 全日本スプリント大会 開催告知

2025年度の全日本大会(スプリント競技部門)を下記の通り開催予定です。
詳細はJOAホームページにてご確認ください。

主催者:公益社団法人 日本オリエンテーリング協会
開催地:兵庫県淡路市 国営明石海峡公園
開催日:2026年2月8日(日)

本大会の開催に伴い、大会当日まで、右記赤色範囲へのオリエンテーリング目的での立ち入りを禁止します。

※国土地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp>)を加工して作成しています。

問い合わせ先: jsoc@orienteering.or.jp



マスタース世界選手権が、日本で開催されます

(WMG2027実行委員会委員長 愛場庸雅)

2027年5月に、国際マスタースゲームズ協会 (IMGA) の主催する、「ワールドマスタースゲーム (WMG) 2027 関西」が開催されることは既に決定していましたが、この中のオリエンテーリング競技が、IOF主催のワールドマスタースオリエンテーリング選手権 (WMOC) 2027として行われることが正式決定しました。

これはもともと2021年に開催される予定だったものが、コロナ禍で延期になっていたものです。日程は、2027年5月21日～29日 (WMG全体は5月14～30日) で、スプリント種目 (神戸市、5月21～23日) とフォレスト種目 (兵庫県養父市、香美町、神戸町、5月25～29日) が行われます。詳細はJOAやIOFのホームページで公開するBulletin0 (予告要項) をご覧ください。

参加資格は、1992年以前に生まれた方ならどなたでも参加できます。あなたにも、ワールドチャンピオンになる可能性があります！ 正式な募集要項は2025年11月頃に公示される予定で、エントリー開始は2026年の春頃になる予定です。

尚、WMGでは他にも開催される種目があり、WMGにエントリーすると全部で5種目 (オリエンテーリングはスプリントとフォレストの2種目) まで参加できますので、日程が合えば他の競技にも参加できます。WMOCとしては、スプリント、フォレストミドル、フォレストロングの3つのメダルを争うことになります。

また、大会運営に関わっていただける方 (関西地区在住の方) も募集いたします。お問い合わせはJOA事務局 (担当: 山本) までお願いいたします。

WMG (ワールドマスタースゲームズ) とは

ワールドマスタースゲームズは、概ね25歳から35歳以上の壮年者を対象とした、一般アスリートが参加できる生涯スポーツのイベントです。国際マスタースゲームズ協会 (IMGA: 本部スイス・ローザンヌ) が主催しています。この大会は4年ごとに開催され、第1回は1985年にトロントで開催されました。2027年の関西大会で11回目を迎えることになります。オリエンテーリングは参加者数が多く、コア競技種目となっています。

過去のWMG : 開催地と参加者数

第1回 (1985)	トロント (カナダ)	61ヶ国・8,305人
第2回 (1989)	ヘアニング、オールボー、オーフス (デンマーク)	76ヶ国・5,437人
第3回 (1994)	ブリスベン (オーストラリア)	71ヶ国・23,659人
第4回 (1998)	ポートランド (アメリカ)	101ヶ国・11,000人
第5回 (2002)	メルボルン (オーストラリア)	97ヶ国・24,886人
第6回 (2005)	エドモントン (カナダ)	89ヶ国・21,600人
第7回 (2009)	シドニー (オーストラリア)	95ヶ国・28,676人
第8回 (2013)	トリノ (イタリア)	107ヶ国・19,000人
第9回 (2017)	オークランド (ニュージーランド)	約100ヶ国・28,571人
第10回 (2025)	台北市、新北市 (台湾)	
第11回 (2027)	関西 (日本)	目標 約50,000人



ワールドマスタースゲームズ
2027 関西
公式Webサイト

WMOC (ワールドマスタースオリエンテーリング選手権) とは

IOF (国際オリエンテーリング連盟) が主催する、マスタース (35歳以上) の世界選手権で、1996年から毎年開催されています。2002年から2017年まで、WMGが開催される場合は、その開催地で併催する形で行われてきました。

ヨーロッパで開催されると、2000～4000人の参加があります。5歳ごとの年齢区分で、男女別にチャンピオンを選出します。元世界チャンピオンの参加もあり、かなりハイレベルな競技ですが、90歳を超えるクラスも設定され、各年齢に応じたコースが提供されます。

誰でも参加出来ますが、予選・決勝方式となっており、スプリント・ミドル・ロングの3種目のチャンピオンを選出します。

WMOC2027 Bulletin 0



近年のWMOC 開催国

- 2017 ニュージーランド (WMGに併催)
- 2018 デンマーク
- 2019 ラトビア
- 2020 (コロナ禍で中止)
- 2021 ハンガリー
- 2022 イタリア
- 2023 スロバキア
- 2024 フィンランド
- 2025 スペイン
- 2026 ポーランド
- 2027 日本



JAPAN ORIENTEERING World Ranking Event CHAMPIONSHIPS

全日本オリエンテーリング選手権大会



開催地 栃木県那須塩原市バンターマウンテン塩原付近(新規作成)

開催日 2025年10月4日(土) ミドル・ディスタンス競技部門

2025年10月5日(日) ロング・ディスタンス競技部門

主催 公益社団法人日本オリエンテーリング協会

共催 栃木県オリエンテーリング協会



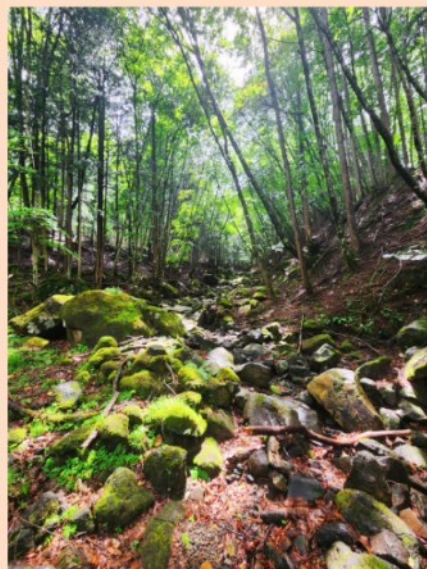


SIGHTSEEING

那須塩原は魅力がたくさん!!
レース後には「塩原温泉郷」で
身体を癒し、那須塩原の食を
満喫できます。
生乳生産量が本州No.1!
牧場でミルクやスイーツも。

FOREST

Hello, NEW MAP!



2025年度全日本ミドルロングは、完全新規トレインにて開催!
走りやすく爽快な那須塩原の森に飛び込み、
未だ誰も見ぬ新しい地図でナビゲーションを堪能しよう。

(公共交通機関の場合)

- ・東北新幹線
東京駅～那須塩原駅 60分
- ・大会専用シャトルバス
那須塩原駅～会場 75分

(車の場合)

- ・宇都宮IC～会場 65km 70分

ACCESS



大会公式Web、Instagram、
X(@orienteeringJOC)にて、
情報発信中! Follow us!

